

ジュニア賞

道草トラベラー

高森 みのり (高校1年生: 東京都)

昨今、コロナ禍の終息とともに海外からの観光客が急増し、多くの観光地で“オーバーツーリズム”の問題が顕在化している。特に、観光客が特定のルートや公共交通機関に集中することによる公道の渋滞や混雑の問題が深刻化している。この問題により、車両の流れが滞り、地域住民の通勤・通学や緊急車両の通行に支障をきたし、観光客自身の移動効率も低下する。このことにより、地域経済や環境に悪影響も及ぼし、観光地の魅力が失われるリスクも高まる。

こうした問題を解決するために、私が考えた「道草トラベラー」では実在の観光地をフィールドに設定し、プレイヤーに遠回りして旅を楽しむ体験を提供する。観光地や得点が加算されるスポットはあらかじめ決まっているが、道のりはプレイヤーが自由に選択でき、途中の絶景ポイントや店舗を巡りながらポイントを集める。地図上のアイコンをタップするとミニクエストが発生し、写真撮影や簡単なクイズ、スタンプラリーなどで得点が加算される。得点を集めることにより、クーポンが表示されたり、AR演出でご当地キャラクターが登場したりして、ただ目的地まで移動するだけでなく“探検”の楽しさを味わえる。次に、オンラインで友達や他のプレイヤーと共通のチェックリストを使い時間制限なしで観光地を巡ってポイントを集め、“ポイント/時間”で算出されるスコアで競ったり、混雑マップをリアルタイムで確認し、迂回ルートを提案し合ったりする機能も入れることで共に楽しめる工夫もする。また季節のイベントを設けることで飽きずに自然や行事を楽しめるようにする。

このゲーム体験により、観光客は渋滞を避けながら地域の新たな魅力を発見できる。特典として、参加店舗の割引クーポンや限定グッズが提供されるため、地域商店への誘客にもつながる。さらに、移動データを自治体や観光協会と共有することで、混雑緩和の施策にも役立つ。遊びながら地域の活性化を図り、持続可能な観光の実現を目指す。